



# 美山小学校便り

平成30年冬休み号

学校教育目標：ふるさとを愛し 夢や希望に向かって 自らを高める 美山っ子の育成

この一年もお世話になり ありがとうございます

年末押し迫っている中、この年の締めくくり、そして迎える新しい年の準備と何かと慌ただしくお忙しい日をお過ごしのことと存じます。日頃は、本校の教育活動に格別のご理解と温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、本校は本日をもって2学期を無事終了いたしました。今年は、台風等の自然災害の影響で臨時休校を余儀なくされる状況が度々起こり、学期末までかけてその回復をすることになりました。町内では、多くの方が被災され、未だにその影響で不便な生活をされていると伺っています。心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧をお祈りいたします。

そんな中であっても、子どもたちは元気に学校生活を送り、9月の運動会を皮切りに、南丹市の陸上運動交歓記録会や持久走記録会・駅伝大会などの運動面、また、皆様のご支援の下で展開した「美山学」では、ホームステイを始め地域の産業や伝統行事等に関する学びに目標を持って前向きに取り組むことができました。子どもたちの学びの足跡や成長については、10月12日(金)に開催しました文部科学省指定「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」の研究発表会と12月1日(土)に実施しました学習発表会で多くの方々に参観いただくことができました。

『熟議、ホームステイなど、地域との交流を前面に出した取組は、本当に実践したくなるような取組ばかりであった。あいさつができ、一生懸命考え、大きな声で歌える子どもたちの姿に思わず涙がこぼれた。』これは、全国へき地教育研究大会京都大会の分科会場を兼ねた10月の研究発表会の参加者の感想として「全国へき地教育新聞」に掲載された記事の抜粋です。このように評価していただいたことは、本当に喜ばしいことでした。

本年度は、子どもたちの表現力や表現意欲を高める一方で、聞いてもらえる喜びや安心感を持てる環境作りのため、聞くことを大切にした指導を展開してきました。12月の学習発表会では、発表や表現力だけでなく、しっかりと鑑賞する力の高まりも評価していただきました。これらの力の高まりは、子どもたちに親身になって関わり、子どもたちの学びを支えていただいた、皆様のおかげと感謝しております。子どもたちの良さをさらに伸ばさせるとともに、自己肯定感を今後さらに高め、人との関わりの中で力を発揮する人材を地域の皆様と協働で育てていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

一年間ありがとうございました。どうぞ、良いお年をお迎えください。

校長 明田 忠弘





# 美山 福祉の集い で発表しました

やすらぎホームのみなさんと

こうりゆうができたよ

2年 古谷 みお

わたしたち2年生は、7月に、やすらぎホームのみなさんとこうりゆうをしました。

わたしたちは、1年生の時にもやすらぎホームをほうもんしました。その時にとてもよろこんでもらったので、その時よりも、もっとよろこんでほしいなあと思いました。2年生になって、また行くことになり、早く行きたいなあと思いました。

やすらぎホームでは、みなさんといっしょに「海」や「かたつむり」の歌を歌いました。手びょうしをしながらいっしょに歌ってもらって、うれしかったです。

かたたたきをすると、

「気持ちいいね。」

と、え顔で言ってもらいました。わたしもえ顔になりました。

風船バレーもいっしょにしました。風船がゆかにおちた時もありましたが、つづけてできました。みなさんが風船をたたきやすいように、やさしくパスをしました。

みなさんは、わたしたちとのこうりゆうを楽しみにまっさつていて、みなさんのやさしい気持ちがつたわってききました。ありがとうございました。いつまでもお元気でいてほしいです。

またこうりゆうできたらいいと思います。



## 校内 書き初め展



期間：平成31年1月15日（火）～1月29日（火）

時間：午前8時30分～午後6時

場所：美山小学校1階 廊下